

支部からの
水土里通信
雄勝支部

「雄勝支部の紹介」

水土里レポーター：水土里ネット湯沢中央／高橋和美

支部からの情報提供との事で、雄勝地域の土地改良区の変遷を確実な？統計を基に調べたら、重複もあるだろうが、昭和26年に設立された西馬音内他2ヶ村土地改良区に始まり？現在まで44もの土地改良区名称を経て、現在の6土地改良区になったことが分かりました。また、県の土地改良区名簿によると、雄勝の面積は7,551ha、組合員数8,086名を、我が雄勝支部の精鋭職員？27名で担っているわけです。

雄勝地域の土地改良区は、21創造運動にそれぞれ独自に取り組みかつホームページでも皆さんに情報を発信しています。職員会は昭和44年9月、昭和55年6には互助会と、会員の親睦・事務技術の向上や、相互共済・福利増進と社会的経済的地位の向上を図る目的で設立されています。（りっぱなものです）



毎年4月の総会に始まり、6月には女性の鬱憤晴らしである女性セミナー、17年から19年7～8月は、振興局農村整備課長による地域見識を広める研修『刈女木湿原・棚田・岩瀬罅穴』、『鳥海山麓・亀田藩地区田園空間整備事業（田園博物館、元滝伏流水など）』を実施し、身近にあった県内の隠れた名所を探訪しています。9月は役職員一体となった秋のスポーツ大会で汗を掻き親睦を深め、12月は持回りによる各理事



長の講演や事業の研修、最近では会員によるシンポジウム・ディスカッション等討論会方式を取り入れ、最後はご多分にもれず楽しい懇談会を開催しています。（仲が良すぎるのでしょうか？）



今年度は、運動不足の野球部との共催として、ふんだんに野球部の予算を頂き、楽天のホームゲーム（引退間近の清原は出場しませんでしたが）を一泊研修として企画し、好評を得たのではないのでしょうか？



これからも予算の続く限り、職員会の目的に向かって大いに有効的に活動を計画していくでしょう？

インフォメーション

第51回本会通常総会の開催について

- 日時：平成21年3月19日(木) 午前11時00分～
- 場所：秋田県社会福祉会館（10階大会議室）
秋田市旭北栄町1番5号 TEL.018-864-2700

※当日は駐車場（会場施設内）の混雑が予想されます。水土里ネット秋田の駐車場も併せてご利用ください。

枯れたイタダリの花に咲く
「雪の花」（結晶）



「阿仁川堤防」1月撮影

2月、一足早い春の訪れ
古都・鎌倉の春の訪れ(梅の花)



鎌倉市「長谷寺」にて、2月22日撮影

編集後記

◆秋田の小正月行事といえば「かまくら(横手)」、「竹うち(六郷)」、「犬っこまつり(湯沢)」…など、各地でいろいろな行事が行われています。一般的には、旧暦の正月にあたる1月15日に農作物の豊作を願ったり、無病息災で1年を過ごせるようにといった風習で行われますが、秋田県内では毎年2月中旬頃に各地で行われます。今年の2月の県内は春を思わせる陽気が続いたり、激しい雨に見舞われたり、再び雪に覆われたりとめまぐるしく天候が変わり、小正月行事の準備や開催も大変だったようです。地域によっていろいろな行事が行われているこの時期。年々この風景も変わりつつありますが、昔ながらの伝統行事、いつまでも続いてほしいものです。

◆本会が事務局を務める「あきた 食料・環境・ふるさとを考える地球人会議」が、平成20年度(第18回)農業農村整備事業広報大賞(全国農村振興技術連盟主催)の栄えある「広報大賞」に選ばれ、先般表彰式に出席してきました。10年以上に渡り実践してきた「わくわく探訪(土地改良施設巡り)」や「地球人フォーラム」の取り組みが評価されての受賞となりました。受賞を機に“継続は力なり”と自分でも再認識しましたが、これまで継続できたのも関係皆様のご協力のおかげだと思っています。改めて感謝申し上げます。さて、この「秋田の土地改良」も今年度の最終号となりました。今年は内容に工夫を加え、読みやすい広報誌を目指してきましたが、いかがでしたか。来年度も身近な情報発信源として、よりホットな話題をお届けしたいと思っております。引き続き「秋田の土地改良」をよろしくお願いいたします。

(広報・渉外班◇嵯峨記)